

## 再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課  
担当課長名：渡邊 浩司

事業名：都市計画道路 大通り	事業区分：街路	事業：栃木県
起終点：自：栃木県宇都宮市桜3丁目 至：栃木県宇都宮市駒生町	延長：3.5 km	
<b>事業概要</b> 都市計画道路大通りは、JR宇都宮駅から県都宇都宮市の中心市街地を通過し、東北自動車道（仮称）大谷スマートICと接続する、延長約6.3 kmの都市計画道路である。（仮称）大谷スマートICと宇都宮市街地とのアクセス向上、自転車歩行者の安全確保、渋滞解消を目的として、道路拡幅及び電線類地中化を行う。		
H20年度事業化	S7年度都市計画決定 (H13、H15年度変更)	H20年度用地着手
H24年度工事着手		
全体事業費：185億円	事業進捗率：54%	供用済延長：0.7 km
計画交通量：32,800台/日		
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.4 (残事業) 2.6	総費用：(残事業)/(事業全体) 75/182億円 (事業費：73/180億円) 維持管理費：2.0/2.4億円
	総便益：(残事業)/(事業全体) 197/251億円 (走行時間短縮便益：175/222億円) (走行経費減少便益：14/19億円) (交通事故減少便益：7.8/10億円)	基準年：平成28年
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=1.2~1.5(交通量±10%) 事業費：B/C=1.3~1.5(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.4(事業期間±1年)		
(残事業) 交通量：B/C=2.4~2.9(交通量±10%) 事業費：B/C=2.4~2.9(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.5~2.7(事業期間±1年)		
<b>事業の効果等</b> ・東北自動車道（仮称）大谷スマートICと宇都宮市街地を結ぶルートとしてのアクセス強化 ・歩行者・自転車の安全で快適な通行空間の確保 ・円滑な交通機能の確保や路線バスの定時性の確保 ・救命救急活動や都市防災機能の強化		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・宇都宮市から早期整備の要望を受けている。		
<b>事業評価監視委員会の意見</b> ・県の対応方針通り、事業継続が妥当との意見である。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・特になし。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・駒生工区の約0.7 km区間を供用し、道路利用者の快適性が向上した。 ・平成28年度末既投資事業費：99億円（進捗率約54%）、うち用地費83億円（進捗率57%）		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・用地取得が完了した駒生工区の早期供用開始を目指すとともに、用地取得を推進する。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・再生骨材等を積極活用するとともに、電線類地中化において、浅層埋設方式を採用しコスト縮減に努めている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。